



# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 前提条件
  - 2.3. 検証済み環境
  - 2.4. 対象読者
  - 2.5. 注意事項
- 3. 概要
  - 3.1. Kibana ポートレット について
  - 3.2. アクター
  - 3.3. セットアップの手順について
- 4. Kibana の準備
  - 4.1. プラグインのインストール
- 5. intra-mart Accel Platform をセットアップする
  - 5.1. モジュールの選択
  - 5.2. 設定ファイルの編集
  - 5.3. Web Server の設定
  - 5.4. テナント環境セットアップ
- 6. ポータルの設定
  - 6.1. ポートレットの作成
  - 6.2. ポートレットのポータルへの追加
- 7. プラグインクラス
  - 7.1. KibanaAuthorizer
  - 7.2. KibanaFieldMapper
  - 7.3. KibanaFieldProvider
- 8. トラブルシューティング
  - 8.1. グラフが表示されない
  - 8.2. 絞り込み条件の取得に失敗する
- 9. 参考文献

変更年月日	変更内容
-------	------

---

2017-04-01	初版
------------	----

---

## 本書の目的

---

本書では Kibana ポートレット のセットアップ手順について説明します。

## 前提条件

---

以下の前提条件があります。

- リリースノートに記載されているシステム要件を満たしていること  
詳細は「[リリースノート](#)」 - 「[システム要件](#)」を参照してください。
- Kibana について理解していること

## 検証済み環境

---

以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせです。

弊社では以下の環境をサポートしますが、intra-mart製品以外（OS、JDK、DB、Mailサーバ等）に起因する問題が発生した場合は保証致しかねます。

<b>intra-mart</b>	<b>Elasticsearch</b>	<b>Kibana</b>
intra-mart Accel Platform 2017 Spring(Portland)	1.7.3	4.1.2
Resin 4.0.50	2.0.0	4.2.0
PostgreSQL 9.6	2.1.0	4.3.1
Windows Server 2008 R2 Standard 64bit	2.2.0	4.4.0
	2.3.0	4.5.0
	2.4.0	4.6.0
	5.0.0	5.0.0
	5.0.1	5.0.1
	5.0.2	5.0.2
	5.1.1	5.1.1
	5.1.2	5.1.2
	5.2.0	5.2.0
	5.2.1	5.2.1

---

## 対象読者

---

以下の利用者を対象としています。

- Kibana ポートレット のセットアップを行う方

- 本書内で記載されている外部URLは、2017年4月1日 現在のものです。
- 本書内の Kibana に関する説明は 2017年4月1日 現在のものです。
- Kibana ポートレット を利用する際の制限事項があります。  
詳細は [リンク先](#) を参照してください。

項目

- [Kibana ポートレット について](#)
  - [アクセス制御](#)
  - [フィールド名の変換](#)
  - [期間指定](#)
  - [絞り込み](#)
- [アクター](#)
- [セットアップの手順について](#)

---

## Kibana ポートレット について

Kibana ポートレット は intra-mart Accel Platform を介して Kibana のグラフを表示する機能を提供します。

ブラウザから直接 Kibana にアクセスするのではなく、intra-mart Accel Platform がリバースプロキシサーバとなり、アクセスを中継する方式をとります。

---

### アクセス制御

インデックス（スキーマ）、フィールド（列）、ドキュメント（行）に対するアクセス権のチェックを行い、権限のないデータは参照できないように制御することが可能です。これを行うには後述の [プラグインクラス](#) を作成することが必要です。

---

### フィールド名の変換

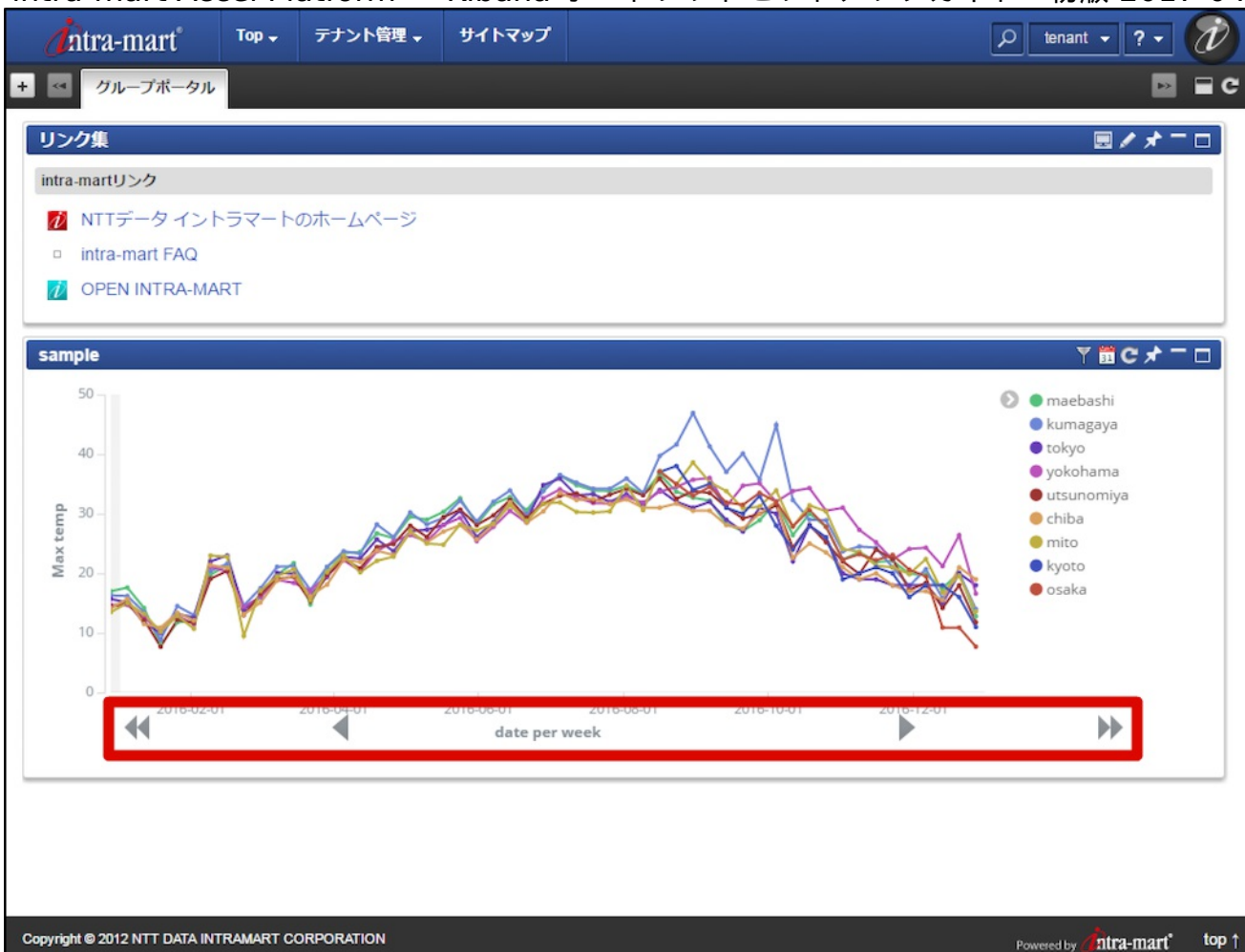
フィールド名の多言語化等が可能です。これを行うには後述の [プラグインクラス](#) を作成することが必要です。

---

### 期間指定

Kibana の標準機能では、グラフに表示するデータの期間を指定するのがグラフの設定をするときに限られています。Kibana ポートレット では、グラフを参照することしかできないユーザがグラフに表示されている期間の前後のデータを参照できるように、表示期間を移動するためのアイコンを提供します。

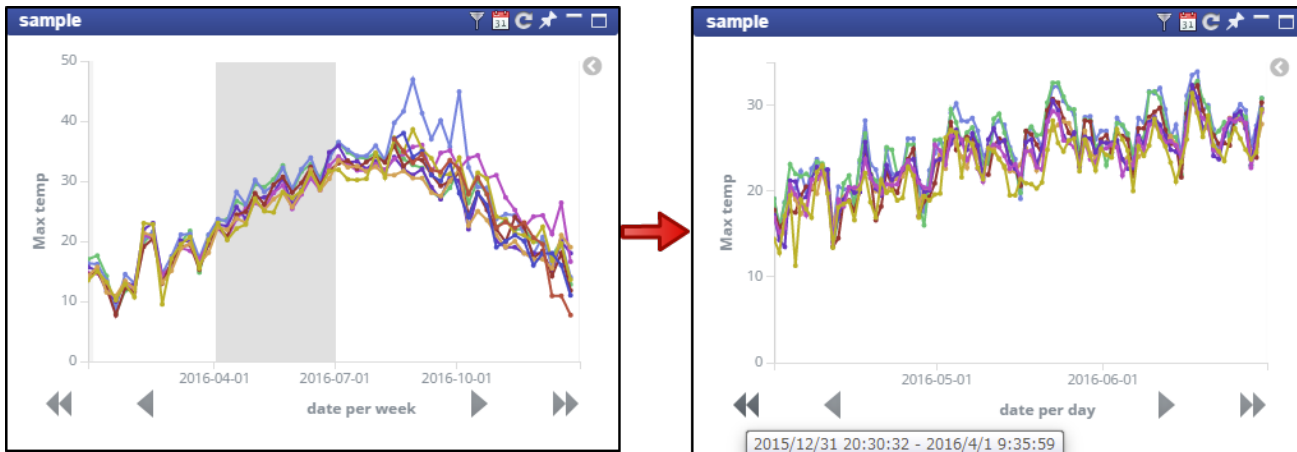
表示している範囲を基準に、一重の矢印は半分の期間（下図の例では半年）、二重の矢印は表示している範囲（下図の例では1年）だけ表示している期間を移動します。左向きの矢印は過去へ、右向きの矢印は未来へ移動します。



また、Kibana が標準で提供している期間の選択肢を intra-mart Accel Platform 上でも提供します。



なお、Kibana のグラフをドリルダウンすると、期間移動アイコンの移動期間はドリルダウンした期間に合わせて変化します。以下の例では4月1日頃から7月1日頃をマウスのドラッグで選択すると、グラフがドリルダウンした状態で表示されること、期間移動アイコンの移動範囲が更新されることを示しています。



## 絞り込み

Kibana の標準機能では、複数の表示データの中からいくつかのデータに絞り込んで グラフを表示するには Elastic Search のクエリを書かなければなりません。Kibana ポートレットでは、あらかじめ設定を行うことで、表示しているグラフのデータを選択肢から選ぶことができます。下図の例では、いくつかの凡例のうち tokyo, yokohama のデータだけを表示しています。





## コラム

Kibana については、以下のサイトを参照してください。

- <https://www.elastic.co/jp/products/kibana> (日本語)
- <https://www.elastic.co/products/kibana> (English)

## アクター

---

本書では以下のように定義します。

- intra-mart Accel Platform システム管理者  
intra-mart Accel Platform 環境の管理者
- Kibana 管理者  
Kibana 環境の管理者

## セットアップの手順について

---

Kibana ポートレット のセットアップは以下の手順で行います。

1. *Kibana の準備*
2. *intra-mart Accel Platform をセットアップする*
3. *intra-mart Accel Platform をセットアップする*
4. *ポータルの設定*

Kibana ポートレットに必要なプラグインをインストールします。本項の内容は Kibana の管理者向けの作業です。

項目

- [プラグインのインストール](#)



#### 注意

Kibana についての詳細は Elastic 社のドキュメントを参照してください。

## プラグインのインストール

Kibana に Kibana ポートレット用のプラグインをインストールします。プラグインは、次の機能を提供します。

- [期間指定](#) を Ajax で実行する機能
  - プラグインをインストールしない場合、対象の期間のグラフ全体を再読み込みします。
- [絞り込み](#) 機能

これらの機能が不要な場合はプラグインのインストールは不要です。

1. 以下の URL よりプラグインをダウンロードします。Kibana 5.0.0 以降、そのバージョン向けに作成されたプラグインしか動作しません。

#### Kibana のバージョン プラグイン

4.x	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-4.x.tar.gz</a>
5.0.0	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.0.0.zip</a>
5.0.1	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.0.1.zip</a>
5.0.2	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.0.2.zip</a>
5.1.1	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.1.1.zip</a>
5.1.2	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.1.2.zip</a>
5.2.0	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.2.0.zip</a>
5.2.1	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.2.1.zip</a>
5.2.2	<a href="#">kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.2.2.zip</a>

2. ダウンロードしたファイルを Kibana をインストールしたディレクトリに保存します。
3. Kibana をインストールしたディレクトリで次のコマンドを実行し、インストールを行います。

#### Kibana のバージョン

バージョン	コマンド
4.x	<code>bin/kibana plugin -install kibana_iap_portlet_plugin -u file:///kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-4.x.tar.gz</code>

**Kibana のバージョン**

バージョン

コマンド

---

5.x	<code>bin/kibana-plugin install file:///./kibana_iap_portlet_plugin-8.0.0-for-kibana-5.0.0.zip</code>
-----	---

---

**コラム**

5.x のコマンドで指定しているファイル名は Kibana 5.0.0 向けのもので、他のバージョンの Kibana にプラグインをインストールする場合は、対象のバージョン向けにダウンロードしたファイル名に置き換えた上でコマンドを実行してください。

4. インストールされたかどうかを確認するため、以下のようなURLへアクセスします。

- `http://{kibana-host}:{kibana-port}/status`
  - 例 : `http://kibana.example.com:5601/status`

5. `kibana_iap_portlet_plugin` が表示されていればインストールは成功です。

Status Breakdown	
ID	Status
ui settings	✔ Ready
plugin:kibana@5.0.0	✔ Ready
plugin:elasticsearch@5.0.0	✔ Kibana index ready
plugin:kibana_iap_portlet_plugin@5.0.0	✔ Ready
plugin:console@5.0.0	✔ Ready
plugin:timelion@5.0.0	✔ Ready

intra-mart Accel Platform システム管理者 向けの作業です。intra-mart Accel Platform のセットアップは「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」を参照してください。ここでは追加で必要な手順を説明します。

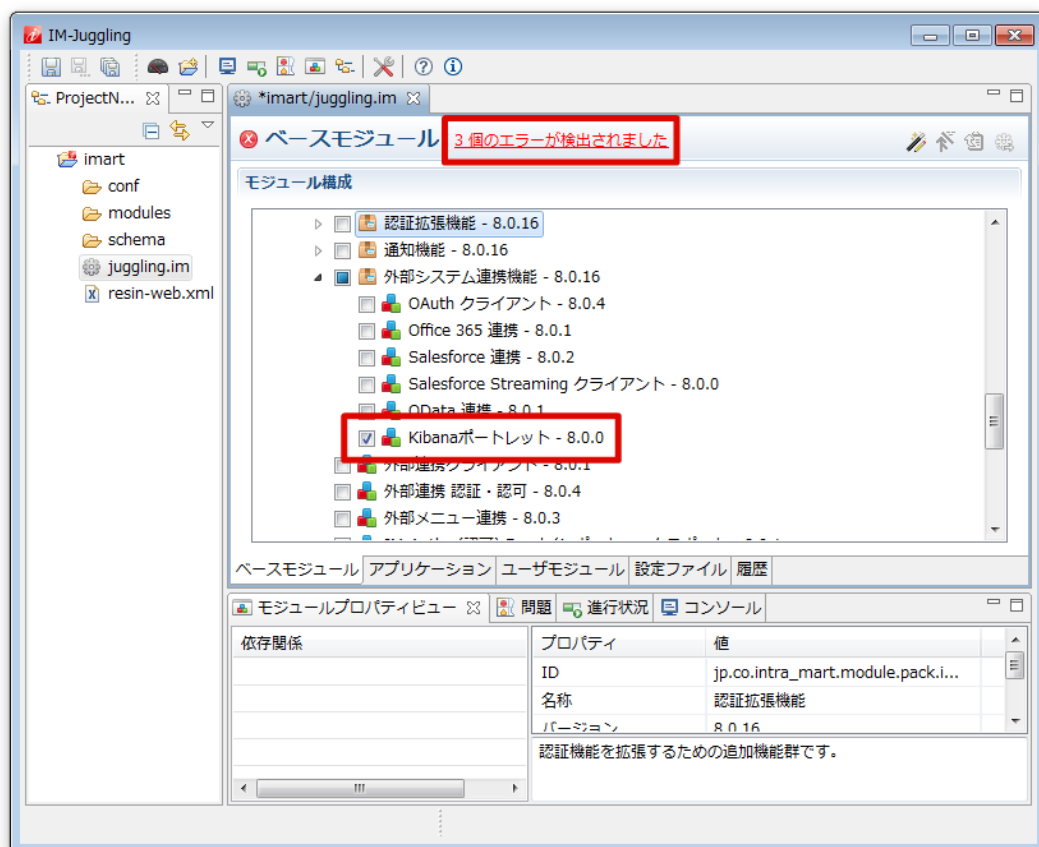
### 項目

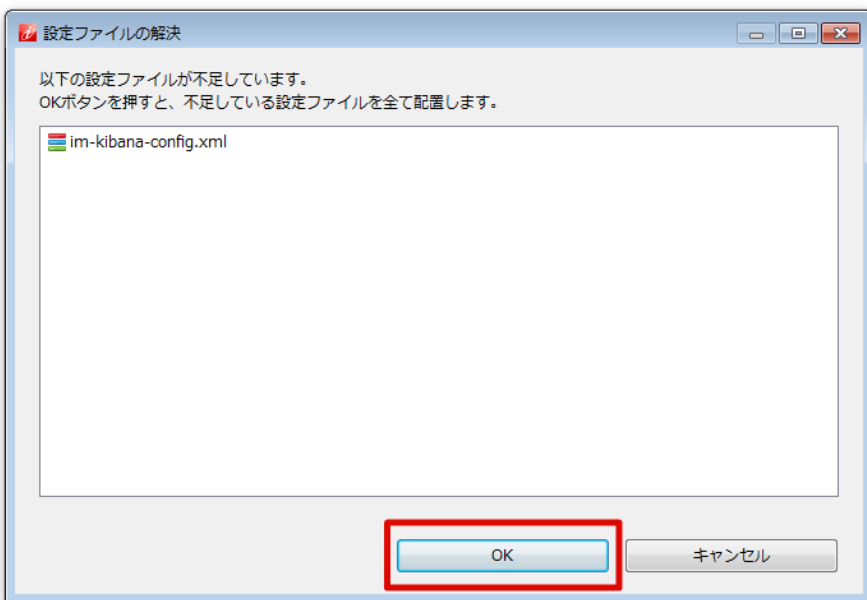
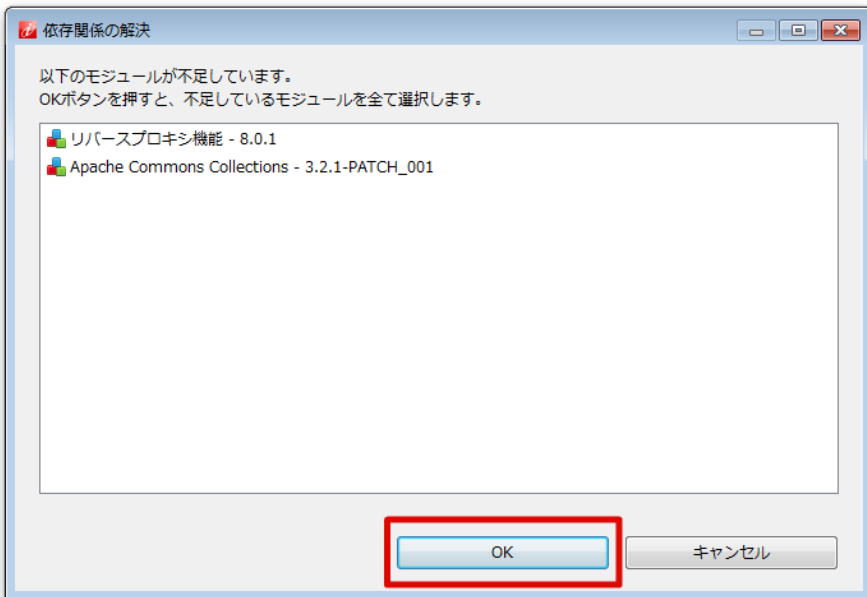
- モジュールの選択
- 設定ファイルの編集
  - Kibana ポートレット 設定ファイルの確認
- Web Server の設定
  - Apache HTTP Server
  - Internet Information Services (IIS)
- テナント環境セットアップ

## モジュールの選択

「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)」より、Kibana ポートレット を選択します。

Kibana ポートレット を選択した際、画面上部にエラーメッセージが表示されている場合、エラーメッセージリンクをクリックして、依存関係を解決したり、設定ファイルの解決より設定ファイルをプロジェクトに配置したりしてください。





## 設定ファイルの編集

Kibana ポートレット を利用するための設定ファイルを編集します。設定ファイルの詳細については「[設定ファイルリファレンス](#)」 - 「[設定ファイルリファレンス - Kibanaポートレットの設定](#)」を参照してください。

1. 「ProjectNavigator」内の < (プロジェクト名) /im-kibana-config/kibana-config.xml> ファイルをダブルクリックで開き、「ソース」タブを選択してください。
2. 「kibana-config」の「id」属性に任意のIDを指定してください。

```
<im-kibana-config>
  <kibana-config id="sample">
    . . .
  </kibana-config>
</im-kibana-config>
```

3. 「root-url」に接続先の Kibana のURLを、「version」に接続先の Kibana のバージョン番号を指定します。

```

<im-kibana-config>
  <kibana-config id="sample">
    <root-url>http://kibana.example.com:5601</root-url>
    <version>5.2.1</version>
  </kibana-config>
</im-kibana-config>

```

## Kibana ポートレット 設定ファイルの確認

Kibana ポートレット 設定ファイルの例を以下に示します。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<im-kibana-config
  xmlns="http://www.intra-mart.jp/system/im-kibana/config/im-kibana-config"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.intra-mart.jp/system/im-kibana/config/im-kibana-config ../schema/im-
kibana-config.xsd ">

  <kibana-config-list>
    <kibana-config id="sample">
      <root-url>http://localhost:5601</root-url>
      <kibana-version>5.2.1</kibana-version>
    </kibana-config>
  </kibana-config-list>
</im-kibana-config>

```

## Web Server の設定

Web Server を利用している場合、追加で設定を行う必要があります。Web Server の設定の詳細は [Web Server](#) を参照してください。

### Apache HTTP Server

[Apache設定ファイルの編集](#) での設定に `RewriteCond %{REQUEST_URI} !^/imart/kibana/` を追記します。

```

AllowEncodedSlashes On
RewriteEngine On
RewriteCond %{REQUEST_URI} !^/imart/reverse_proxy/
RewriteCond %{REQUEST_URI} !^/imart/kibana/
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.gif|.*\GIF)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.png|.*\PNG)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.jpg|.*\JPG)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.css|.*\CSS)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.js|.*\JS)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\.swf|.*\SWF)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\ico|.*\ICO)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\json|.*\JSON)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\jar|.*\JAR)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\xml|.*\XML)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\yaml|.*\YAML)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\txt|.*\TXT)$ [OR]
RewriteCond %{REQUEST_URI} ^/imart/(.*\html|.*\HTML|.*\htm|.*\HTM)$
RewriteRule ^/imart/(.*)?$ /imart/$1

ProxyPreserveHost On
ProxyPass /imart/ http://192.168.1.1:8080/imart/ nocanon
ProxyPassReverse /imart/ http://192.168.1.1:8080/imart/ nocanon
ProxyTimeout 1200

```

## Internet Information Services (IIS)

Internet Information Services (IIS) での設定に `(?!kibana/)` を追記します。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<configuration>
  <system.web>
    <httpRuntime maxRequestLength="102400" requestPathInvalidCharacters="" />
    <customErrors mode="Off" />
  </system.web>
  <system.webServer>
    <security>
      <requestFiltering>
        <requestLimits maxAllowedContentLength="104857600" />
      </requestFiltering>
    </security>
    <httpErrors errorMode="Detailed" />
    <rewrite>
      <rules>
        <clear />
        <rule name="ReverseProxyInboundStatic" stopProcessing="true">
          <match url="^imart/(?!reverse_proxy)/(?!kibana/
(.*\gif|.*\png|.*\jpg|.*\css|.*\js|.*\swf|.*\ico|.*\json|.*\jar|.*\xml|.*\yaml|.*\txt|.*\html|.*\htm)$" />
          <action type="None" />
        </rule>
        <rule name="ReverseProxyInboundDynamic" stopProcessing="true">
          <match url="^imart/(.*)" />
          <action type="Rewrite" url="http://192.168.1.1:8080/imart/{R:1}" />
        </rule>
      </rules>
    </rewrite>
  </system.webServer>
</configuration>

```

## テナント環境セットアップ

---

- テナント環境セットアップについては、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



ポータルに Kibana ポートレット のグラフを表示するポートレットを追加します。本項の内容は intra-mart Accel Platform のテナント管理者向けの作業です。本項では簡単のためグループポータルに Kibana ポートレット のポートレットを追加します。

### 項目

- ポートレットの作成
- ポートレットのポータルへの追加



### 注意

ポータル についての詳細は「ポータル 管理者操作ガイド」を参照してください。

## ポートレットの作成

ポートレットを作成します。

1. グローバルナビから「テナント管理」 - 「ポータル管理」 - 「ポートレット一覧」をクリックします。
2. 「ポートレット一覧」画面で、「新規登録」をクリックします。

編集	設定	アプリケーション	名称	説明	アクセ	公開
		Google	Googleガジェット	Googleガジェット用ポートレットです。		
		RSS	intra-mart topix RSS	intra-mart topix RSS です。		
		リンク集	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。		
		インターネット	インターネット	Webクリッピングポートレットです。		
		リッチテキスト	リッチテキスト	リッチテキスト		
		システム	重要なお知らせ	システムからのお知らせ情報です。		
		IM-Workflow	申請ポートレット	IM-Workflowの申請ポートレットです。		
		IM-Workflow	新着処理ポートレット	IM-Workflowの新着処理ポートレットです。		

3. 「ポートレット新規登録」画面で「Kibana Visualizeポートレット」リンクをクリックします。

ポートレット名を選択してください。

ポートレット名	説明
非同期ページポートレット	これは、非同期ページポートレットです。
Google Gadgetポートレット	これは、Google Gadgetポートレットです。
Htmlポートレット	これは、Htmlポートレットです。
インターネットポートレット	これは、インターネットポートレットです。
JavaEE開発モデルポートレット	これは、JavaEE開発モデルポートレットです。
Servlet Jspポートレット	これは、Servlet Jspポートレットです。
<b>Kibana Visualizeポートレット</b>	これは、KibanaのVisualizeを1つ表示するポートレットです。
リンク集ポートレット	これは、リンク集ポートレットです。
スクリプト開発モデルポートレット	これは、スクリプト開発モデルポートレットです。
RSSポートレット	これは、RSSポートレットです。
重要なお知らせポートレット	これは、重要なお知らせポートレットです。

Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by **intra-mart** top ↑

4. 必要な項目を入力し「登録」ボタンをクリックするとダイアログが表示されるので、「決定」ボタンをクリックします。
- ここではポートレット名を「sample」としました。
  - アプリケーションは必須ではありませんが、ポートレット一覧画面での検索性を高めるため「Kibana」を指定しています。

intra-mart® Top ▼ テナント管理 ▼ サイトマップ 🔍 tenant ? ⓘ

ポートレット新規登録 ← 戻る

**基本設定**

ポートレット名 Kibana Visualizeポートレット

名称\*

日本語*	sample
英語*	sample
中国語 (中華人民共和国)*	sample

アプリケーション

日本語	Kibana
英語	Kibana
中国語 (中華人民共和国)	Kibana

**オプション設定**

タイトルの表示\*  使用する  使用しない

公開フラグ\*  公開  非公開

ポートレットの説明

日本語	
英語	
中国語 (中華人民共和国)	

表示先ポータル種別  ユーザポータル  グループポータル

登録

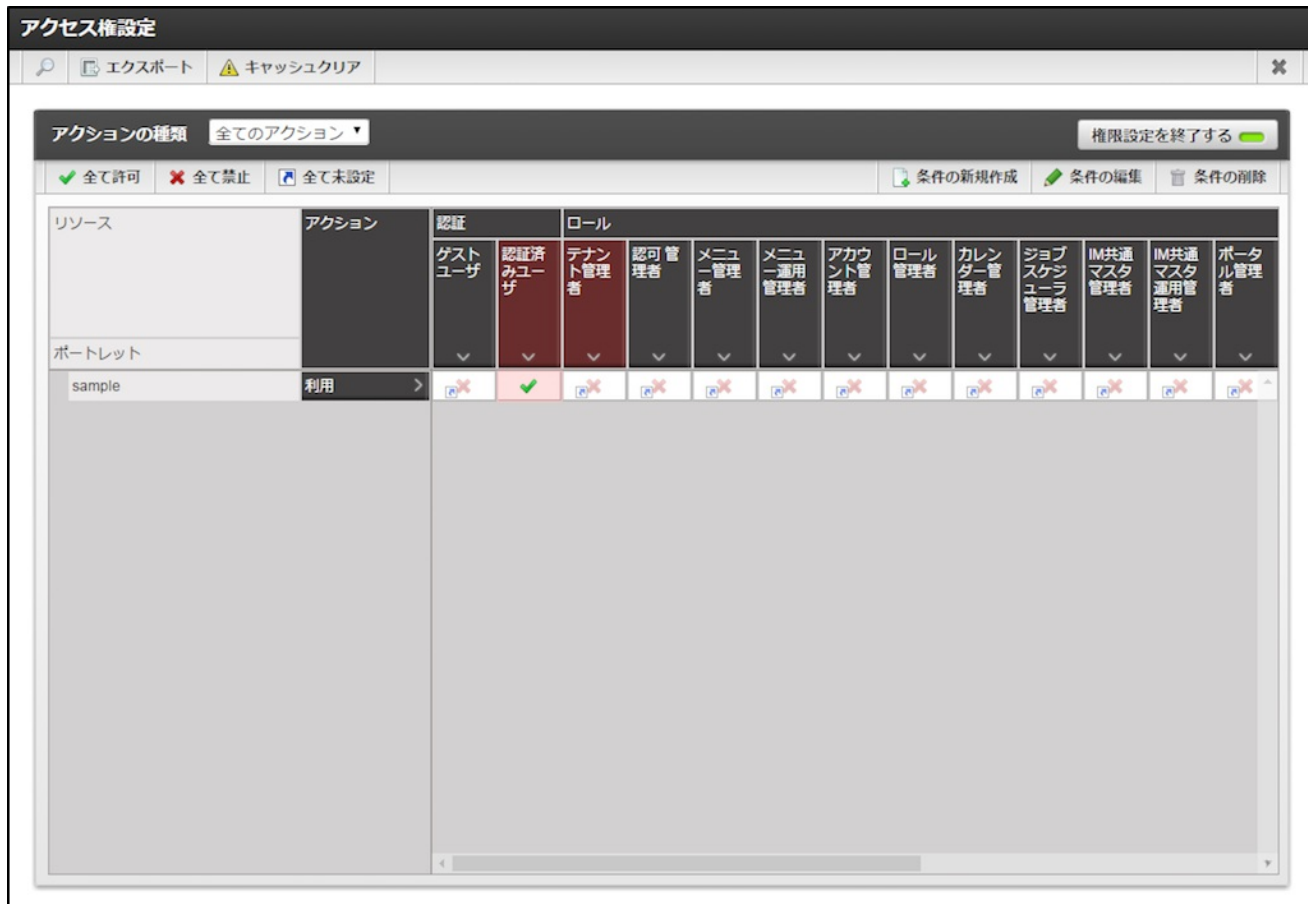
Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION Powered by intra-mart® top ↑

- 「ポートレット一覧画面」に戻るので、追加したポートレットの「アクセス権限設定」アイコンをクリックします。

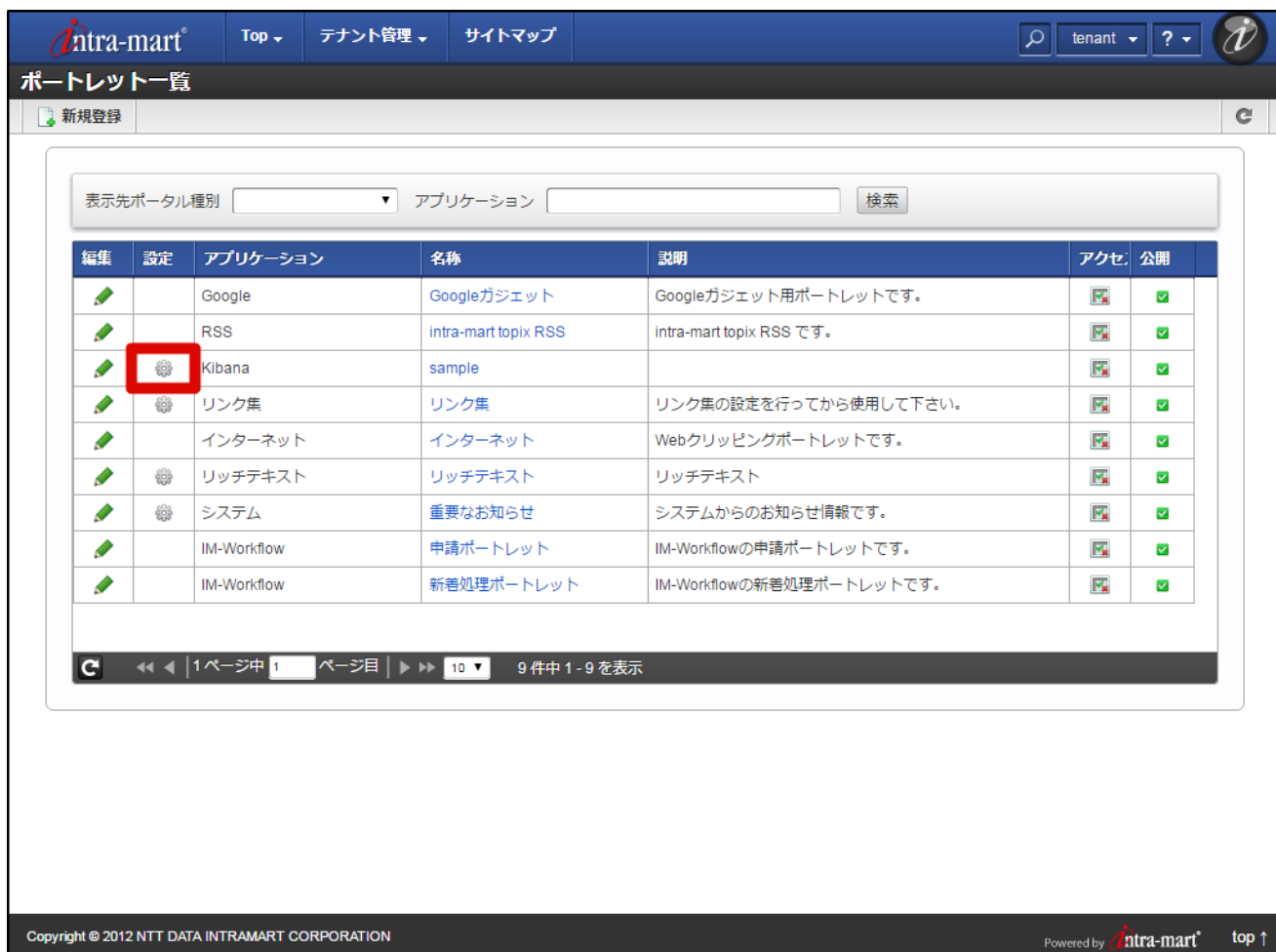
The screenshot shows the 'ポータル一覧' (Portal List) page in Intra-mart. At the top, there are navigation links for 'Top', 'テナント管理' (Tenant Management), and 'サイトマップ' (Site Map). Below the header, there's a search bar and a '新規登録' (New Registration) button. The main content area contains a table of portlets with columns for '編集' (Edit), '設定' (Settings), 'アプリケーション' (Application), '名称' (Name), '説明' (Description), 'アクセ.' (Access), and '公開' (Public). The 'sample' portlet under the 'Kibana' application is highlighted with a red box. At the bottom, there's a pagination control showing '1 ページ中 1 ページ目' and '9 件中 1 - 9 を表示'.

編集	設定	アプリケーション	名称	説明	アクセ.	公開
		Google	Googleガジェット	Googleガジェット用ポートレットです。		<input checked="" type="checkbox"/>
		RSS	intra-mart topix RSS	intra-mart topix RSS です。		<input checked="" type="checkbox"/>
		Kibana	sample			<input checked="" type="checkbox"/>
		リンク集	リンク集	リンク集の設定を行ってから使用して下さい。		<input checked="" type="checkbox"/>
		インターネット	インターネット	Webクリッピングポートレットです。		<input checked="" type="checkbox"/>
		リッチテキスト	リッチテキスト	リッチテキスト		<input checked="" type="checkbox"/>
		システム	重要なお知らせ	システムからのお知らせ情報です。		<input checked="" type="checkbox"/>
		IM-Workflow	申請ポートレット	IM-Workflowの申請ポートレットです。		<input checked="" type="checkbox"/>
		IM-Workflow	新着処理ポートレット	IM-Workflowの新着処理ポートレットです。		<input checked="" type="checkbox"/>

- 「アクセス権設定」ウィンドウが開くので、適切な権限を設定してください。設定し終わったらウィンドウを閉じてください。
  - ここではログイン済みユーザに対して表示可能と設定しました。

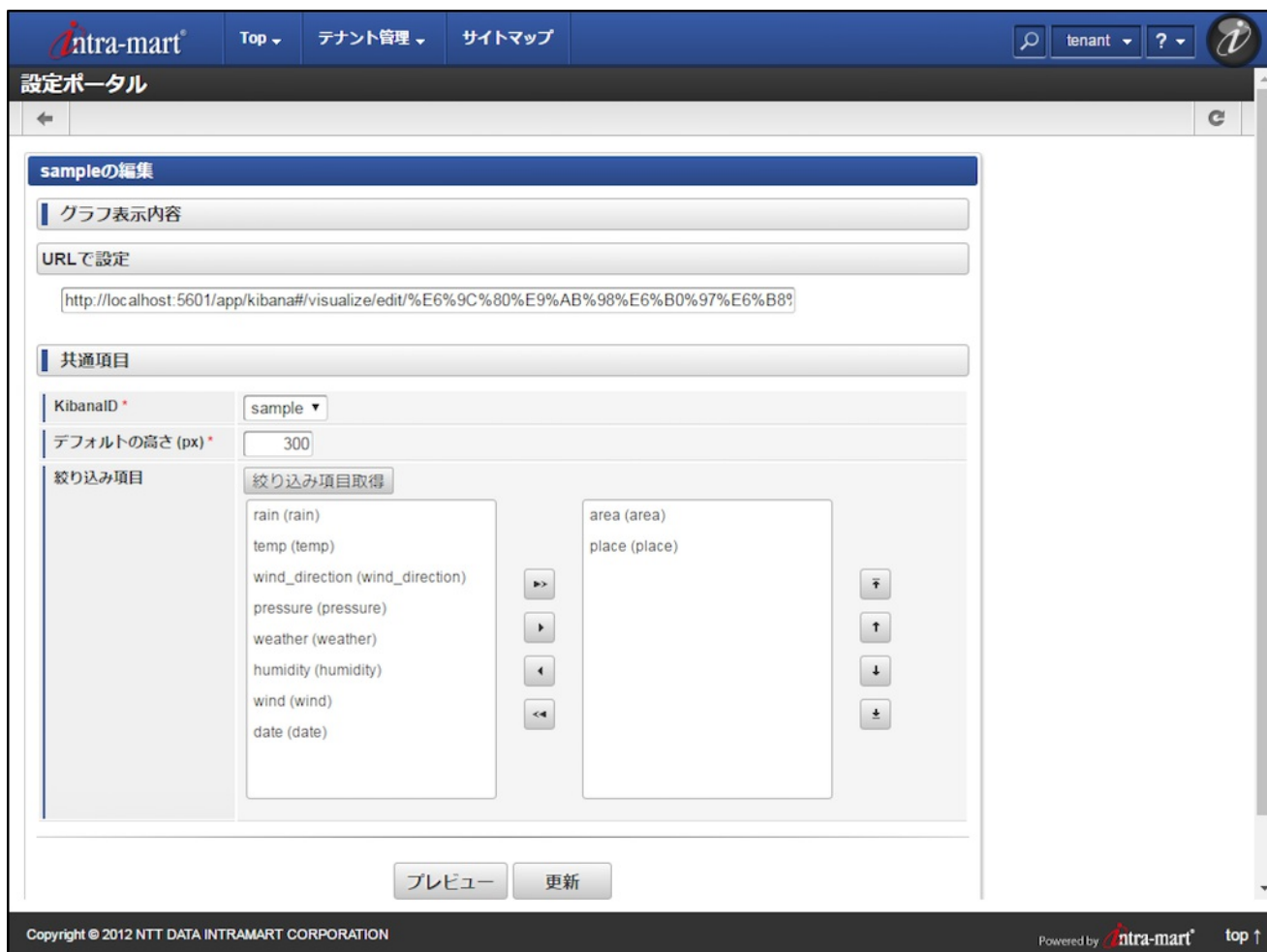


7. 「ポートレット一覧画面」の、追加したポートレットの「設定」アイコンをクリックします。

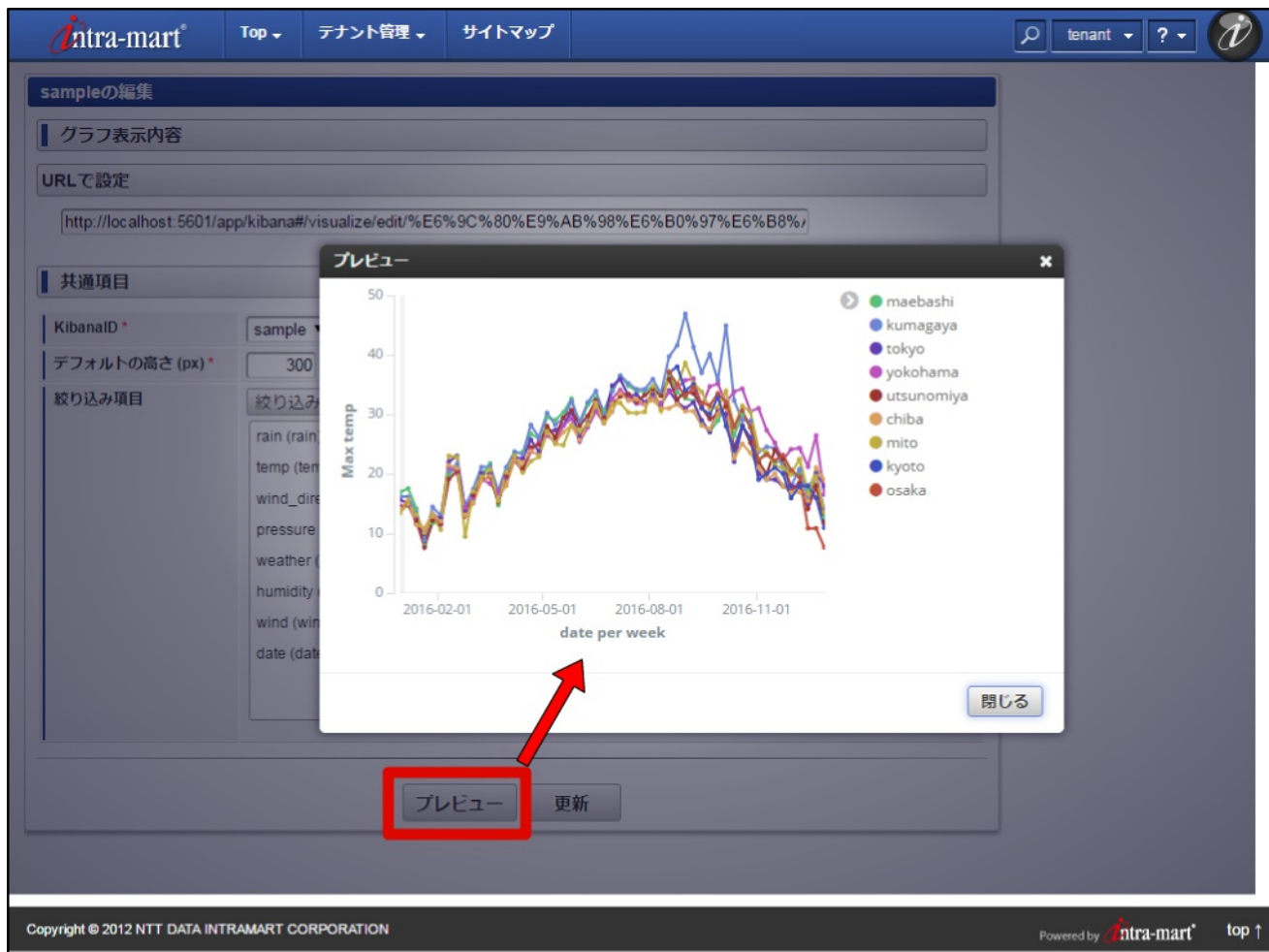


8. 「設定ポータル」画面が表示されるので、必要な項目を入力・選択します。

URLで設定	ポートレットに表示したい Kibana のグラフのURL
KibanaID	<a href="#">設定ファイルの編集</a> で指定したID
デフォルトの高さ(px)	ポートレットのデフォルトの高さ
絞り込み項目	ポートレットに表示するグラフの絞り込み対象



9. 「プレビュー」ボタンをクリックし、期待したグラフが表示されるかどうかを確認します。

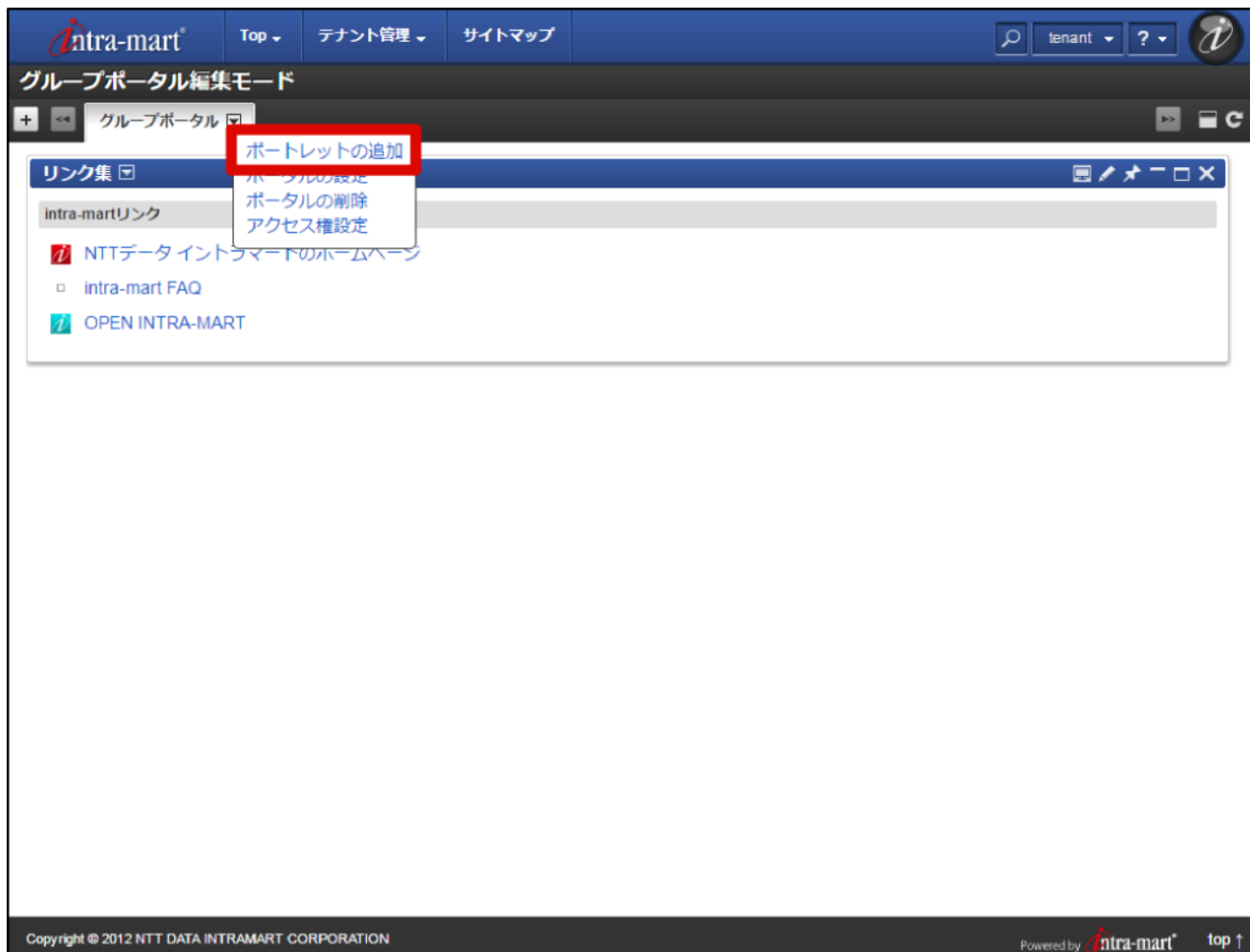


10. 問題がなければ「更新」ボタンをクリックします。



これでポートレットの作成は完了です。

1. グローバルナビから「テナント管理」-「グループポータル管理」をクリックします。
2. グループポータルのコンテキストメニューから「ポートレットの追加」をクリックします。



3. ポートレット一覧から先ほど作成したポートレットのチェックボックスをチェックし、「追加」ボタンをクリックします。



4. 「グループポータル編集モード」画面が再描画され、指定したポートレットが追加されたことがわかります。





所定の抽象クラスを継承した Java クラスを作成し、設定ファイルに記述することによって、モジュールの動作をカスタマイズすることができます。作成した Java クラス名を設定ファイルに記述し、Java クラスと共に war ファイルに含めてデプロイを行うと使用することが可能です。設定ファイルへの記述は [設定ファイルリファレンス - Kibanaポートレットの設定](#) を参照してください。

なお、下記のメソッド引数にある `Map<String, Object> customConfig` には、ポートレット設定画面の「拡張項目」に設定したカスタムフィールドのパラメータが受け渡されます。

## KibanaAuthorizer

Kibana のインデックス、フィールド、ドキュメントに対するアクセス権チェックを行います。

```
/**
 * Kibana連携のアクセスチェックを行う抽象クラスを継承したクラスです。
 * このクラスは全てのアクセスを許可します。
 */
public class SampleAuthorizer extends KibanaAuthorizer {

    /**
     * ドキュメントのアクセス権制御に使用される暗黙の絞り込み条件を取得します。 <br/>
     *
     * Kibana (Elasticsearch) の各ドキュメント (行) に、アクセス権制御用のフィールドが存在することが前提で
     * す。
     *
     * 戻り値として、絞り込み条件のクエリを返します。アクセス権制御が不要な場合は、null を返します。
     *
     * 絞り込み条件は、Lucene のクエリフォーマット
     (https://lucene.apache.org/core/2_9_4/queryparsersyntax.html) で記述します。
     *
     * 例:
     * <pre>
     * # フィールド role_id の値が R1 または R2
     * role_id: R1 OR role_id: R2
     * </pre>
     *
     * @param indexPattern インデックスパターン
     * @param customConfig カスタム項目
     * @return クエリ条件
     * @throws IOException 入出力エラーが発生した
     */
    @Override
    public String getEssentialQuery(final String indexPattern, final Map<String, Object> customConfig) {
        return null;
    }

    /**
     * 指定されたフィールドにアクセスできるかどうかを確認します。
     *
     * @param indexPattern インデックスパターン
     * @param field フィールド名
     * @param customConfig カスタム項目
     * @return アクセス可能ならばtrue、不可能ならばfalseを返します。
     * @throws IOException 入出力エラーが発生した
     */
    @Override
```

```
public boolean validateField(final String indexPattern, final String field, final Map<String, Object>
customConfig) {
    return true;
}

/**
 * 指定されたインデックスパターンにアクセスできるかどうかを確認します。
 *
 * @param indexPattern インデックスパターン
 * @param customConfig カスタム項目
 * @return アクセス可能ならばtrue、不可能ならばfalseを返します。
 * @throws IOException 入出力エラーが発生した
 */
@Override
public boolean validateIndex(final String indexPattern, final Map<String, Object> customConfig) {
    return true;
}
}
```

## KibanaFieldMapper

---

Kibana のフィールド名の物理名（Kibana 側に登録された名称）と論理名（Kibana ポートレットに表示される名称）の変換を行います。

```

/**
 * Kibana フィールド名の論理名と物理名の変換を行うフィールドマップの抽象クラスを継承したクラスです。
 * フィールド名の変換を行わないフィールドマップクラスです。
 */
public class SampleFieldMapper extends KibanaFieldMapper {

    /**
     * 物理名を元に論理名を取得します。
     * @param indexPattern インデックスパターン
     * @param physicalName 論理名
     * @param locale ロケール
     * @param customConfig カスタム設定
     * @return 論理名
     */
    @Override
    public String getLogicalName(final String indexPattern, final String physicalName, final Locale locale,
    final Map<String, Object> customConfig) {
        return physicalName;
    }

    /**
     * 論理名を元に物理名を取得します。
     * @param indexPattern インデックスパターン
     * @param logicalName 論理名
     * @param locale ロケール
     * @param customConfig カスタム設定
     * @return 物理名
     */
    @Override
    public String getPhysicalName(final String indexPattern, final String logicalName, final Locale locale,
    final Map<String, Object> customConfig) {
        return logicalName;
    }
}

```

## KibanaFieldProvider

Kibana のフィールドのリストを提供します。

Kibana ポートレット設定画面の絞り込み条件の取得などで利用されます。

```
/**
 * Kibanaのフィールド名を提供するフィールドプロバイダのクラスです。
 * Kibanaにアクセスして取得したフィールドを使用するフィールドプロバイダのクラスです。
 */
public class SampleFieldProvider extends NativeFieldProvider {

    /**
     * フィールド名のリストを返します。
     * @param kibanaId Kibana連携の設定ファイルに指定したID
     * @param indexPattern インデックスパターン
     * @param customConfig カスタム設定
     * @return フィールド名のリスト
     * @throws IOException 入出力エラーが発生した
     */
    @Override
    public List<KibanaField> getFieldNamesList(final String kibanaId, final String indexPattern, final
    Map<String, Object> customConfig) throws IOException {
        return super.getFieldNamesList(kibanaId, indexPattern, customConfig);
    }
}
```

Kibana ポートレット の利用中に発生するトラブルと対応方法を紹介します。対象の事象リンクをクリックして確認してください。

## グラフが表示されない

---

### 項目

- 「設定情報の取得に失敗しました」とエラーが表示される
  - 現象
  - 原因
  - 対応方法
- Status Breakdown という Kibana のエラーが表示される
  - 現象
  - 原因
  - 対応方法
- Kibana did not load properly. という Kibana のエラーが表示される
  - 現象
  - 原因
  - 対応方法

### 「設定情報の取得に失敗しました」とエラーが表示される

---

#### 現象

ポートレットを表示しようとした際に以下のような画面が表示されます。



## 原因

Kibana や Elasticsearch への接続に失敗している可能性があります。

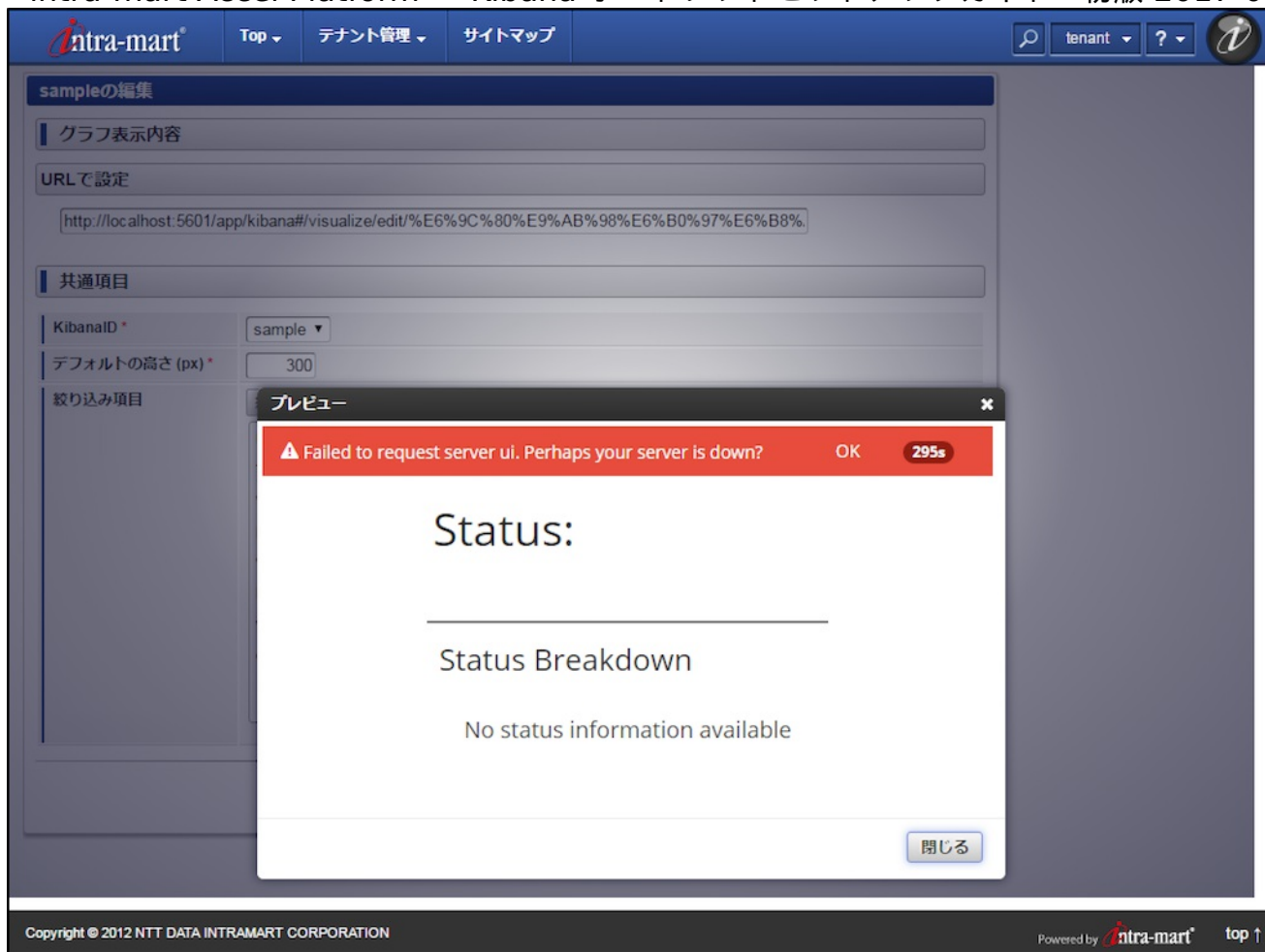
## 対応方法

サーバに出力されているログから、エラーが発生している原因を確認してください。

## Status Breakdown という Kibana のエラーが表示される

### 現象

「テナント管理」「ポータル管理」「ポートレット一覧」「Kibana Visualizeポートレット」でプレビューボタンをクリックすると、Kibana のエラーが表示される。



## 原因

Elasticsearch への接続に失敗している可能性があります。

## 対応方法

サーバに出力されているログから、エラーが発生している原因を確認してください。

## Kibana did not load properly. という Kibana のエラーが表示される

## 現象

「テナント管理」「ポータル管理」「ポートレット一覧」「Kibana Visualizeポートレット」でプレビューボタンをクリックしたり、ポートレットを表示しようとした際に以下のような画面が表示されます。





## 原因

*Web Server* の設定が不足している可能性があります。

## 対応方法

*Web Server* の設定が行われているかどうかを確認してください。

## 絞り込み条件の取得に失敗する

### 項目

- 「絞り込み項目の取得に失敗しました」とエラーが表示される
  - 現象
  - 原因
  - 対応方法

### 「絞り込み項目の取得に失敗しました」とエラーが表示される

## 現象

絞り込み条件ダイアログを表示しようとした際に以下のような画面が表示されます。

不正な絞り込み条件を指定している可能性があります。

#### 対応方法

Kibana Visualize ポートレットの「設定ポータル」画面で「絞り込み項目の取得」ボタンをクリックし、正しい絞り込み項目を指定し直してください。

リンク先は 2017年4月1日 時点で情報を確認しています。

- 「Kibana」

<https://www.elastic.co/products/kibana> (English)

<https://www.elastic.co/jp/products/kibana> (日本語)

- 「Elastic Search」

<https://www.elastic.co/products/elasticsearch> (English)

<https://www.elastic.co/jp/products/elasticsearch> (日本語)